

WIN・ワールドワイド・サーベイ2021  
**「気候変動に関する世論調査」**  
39カ国・地域グローバル調査

調査結果

2022年3月9日  
株式会社 日本リサーチセンター

## ◆「WWS(WIN Worldwide Survey)」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 杉原領治）が加盟しているWIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）では、2021年10月から12月にかけて世界39カ国・地域の18歳以上の個人を対象に国際世論調査「WINワールドワイド・サーベイ」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

注4：国・地域を一部「国」と略して表記しています

「WIN・ワールドワイド・サーベイ」は、社会やビジネスに関連するトピックについての人々の考え・期待・懸念等を把握する目的で、毎年実施される調査です。

## ◆WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）

2007年に設立された、独立系調査会社のネットワークです。

現在世界のおよそ40カ国・地域でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

## ◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

WINの設立に参加し、日本で唯一の代表として加盟しています。

**1) “地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ”という意見について、39カ国・地域平均では『そう思う（計）』\*が86%と多くを占める。日本では『そう思う（計）』が75%で、39カ国・地域中35位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本は75%で39カ国・地域中35位。上位4カ国はベトナム、インドネシア、パラグアイ、ペルー。一方、下位3カ国は、中国、アメリカ、パキスタン。

**2) “気候変動を抑えるにはもう手遅れだ”という意見については、『そう思わない（計）』\*が39カ国・地域平均も日本も5割前後で、『そう思う（計）』（いずれも4割前後）を上回る。日本では『そう思う（計）』が38%で、39カ国・地域中23位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本はクロアチア、ナイジェリアと同率の38%で、39カ国・地域中23位。上位3カ国はインド、中国、パキスタン。一方、下位3カ国は、デンマーク、ブラジル、アメリカで、いずれも3割未満。

**3) “自分の行動・取り組みが環境の改善につながると思う”という意見については、39カ国・地域平均で『そう思う（計）』が8割と多い。日本では『そう思う（計）』が約6割で、39カ国・地域中最下位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本は62%で39カ国・地域中最下位。上位5カ国はパラグアイ、コロンビア、ペルー、インドネシア、ブラジル。一方、下位5カ国は、日本、パレスチナ、中国、ドイツ、ポーランドで、いずれも7割以下。

**4) “持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ”という意見については、39カ国・地域平均では『そう思う（計）』が7割。日本では『そう思う（計）』が6割で、39カ国・地域中最下位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本はアメリカ、パラグアイ、マレーシアと同率の60%で、39カ国・地域中最下位。上位3カ国は韓国、タイ、レバノン。

**5) “地球温暖化が原因で、自然災害（豪雨、洪水、台風など）が増加している”という意見については、39カ国・地域平均も日本も『そう思う（計）』が多数派。日本では『そう思う（計）』が75%で、39カ国・地域中31位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本は75%で、39カ国・地域中31位。上位6カ国はベトナム、メキシコ、ペルー、パラグアイ、インドネシア、インドで、いずれも9割を超える。一方、下位4カ国は、パレスチナ、アメリカ、ポーランド、フィリピン。

**6) “各国政府は環境を保護するために必要な行動を取っている”という意見については、39カ国・地域平均も日本も、『そう思わない（計）』が『そう思う（計）』を上回る。日本では『そう思う（計）』が25%で39カ国・地域中35位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本はアルゼンチンと同率の25%で、39カ国・地域中35位。上位3カ国はベトナム、インドネシア、フィリピンで、いずれも8割を超える。一方、下位3カ国は、クロアチア、ギリシャ、フィンランド。

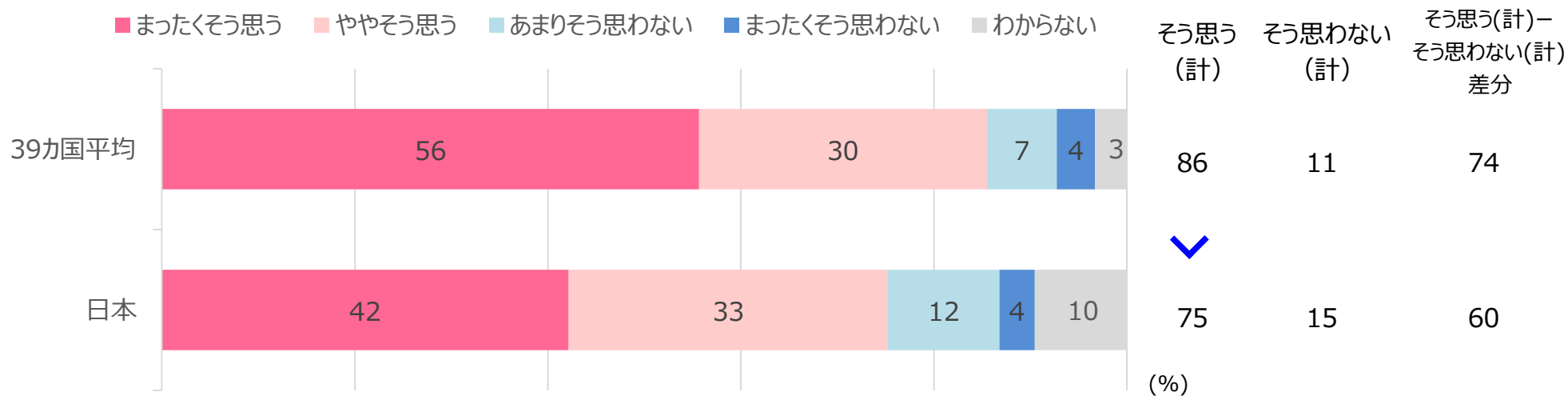
**7) “環境を保護する製品には、もっと多くの金額を支払ってもいいと思う”という意見については、39カ国・地域平均で『そう思う（計）』が約7割。日本は『そう思う（計）』と『そう思わない（計）』がいずれも約4割で意見が分かれる。日本では『そう思う（計）』が43%で、39カ国・地域中最下位。**

- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、日本は43%で、39カ国・地域中最下位。上位3カ国はベトナム、パラグアイ、インド。一方、下位3カ国は、日本、フランス、ポーランド。

“地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ”という意見について、39カ国・地域平均では『そう思う（計）』が86%と多くを占める。日本は『そう思う（計）』が75%で、39カ国・地域平均と比べて11ポイント少ないが、地球温暖化が人類にとって深刻な脅威だという意見に同意する人の割合は4分の3と多数派。

- 地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ、という意見についてどう思うか聞いたところ、『そう思う（計）』の回答の割合は、39カ国・地域平均は86%で、多くを占める。
- 日本では、『そう思う（計）』が75%で、39カ国・地域平均と比べると11ポイント少ないものの、地球温暖化が人類にとって深刻な脅威だという意見に同意する人の割合は4分の3を占める。

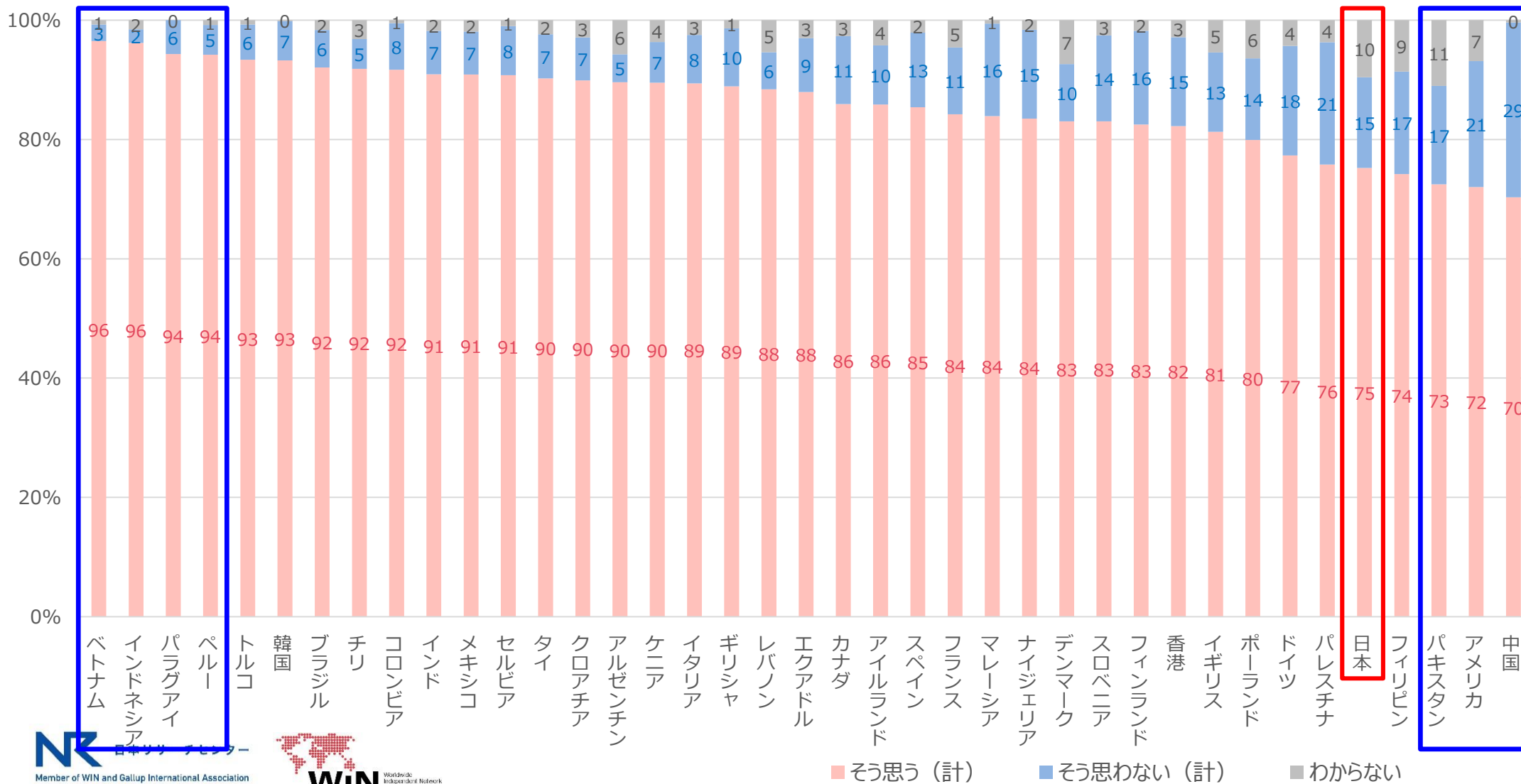
## ■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ（単数回答）





- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位4カ国はベトナム、インドネシア、パラグアイ、ペルー。一方、下位3カ国は、中国、アメリカ、パキスタン。
- 日本は75%で39カ国・地域中35位。

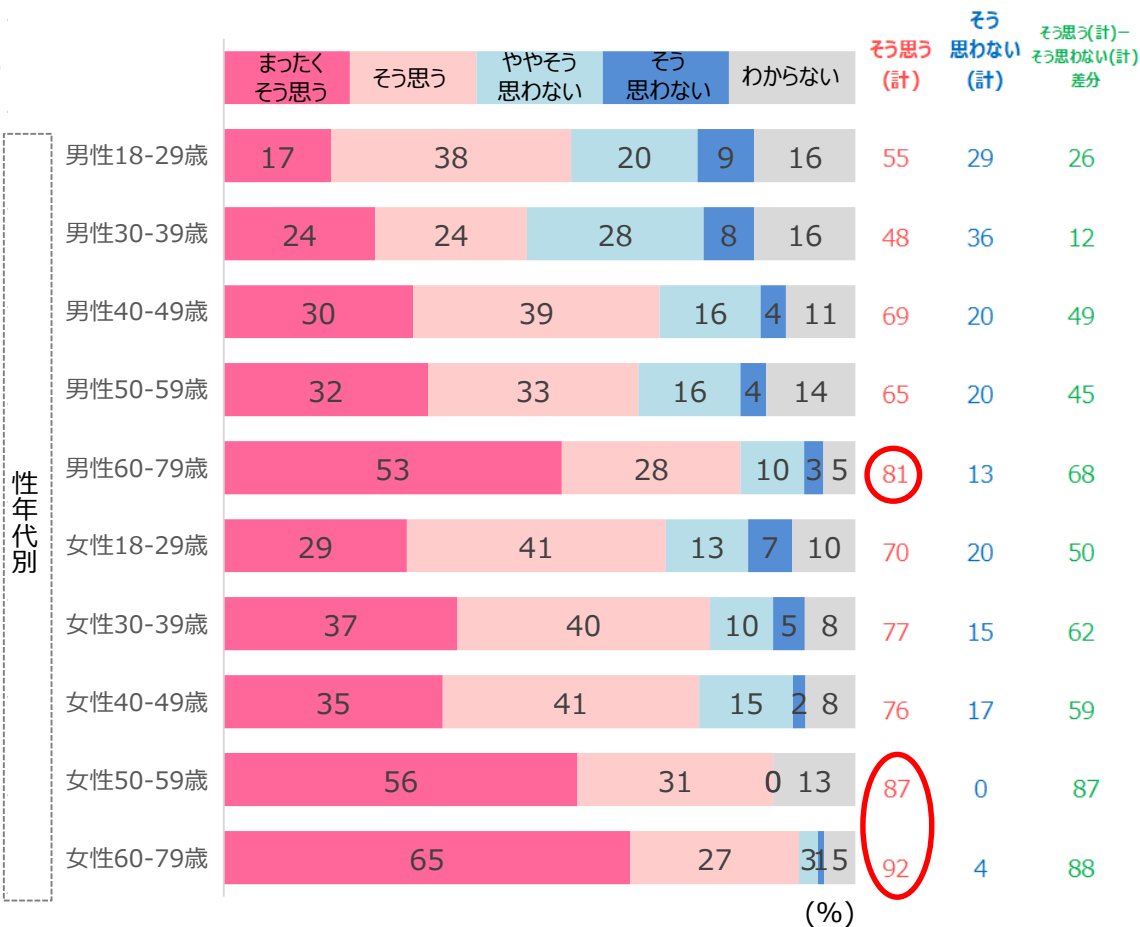
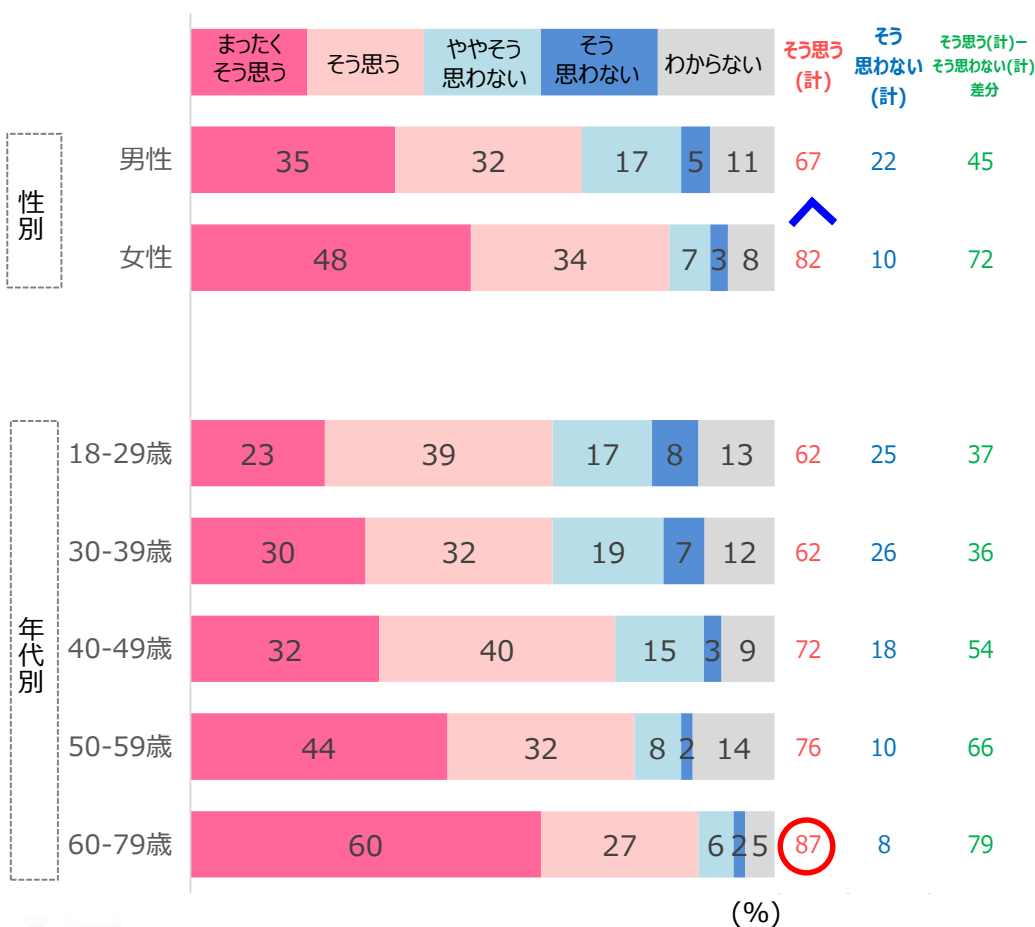
■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:86%



# 【1. 地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ】

- 日本の結果を性別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は女性が8割を超え、男性よりも15ポイント多い。
- 年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は年代があがるにつれ増える。60-79歳は9割近くを占め、他の年代に比べて多い。
- 性年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は男性60-79歳で8割以上、また、女性50-79歳では9割前後を占め、他の性年代と比べて多い。

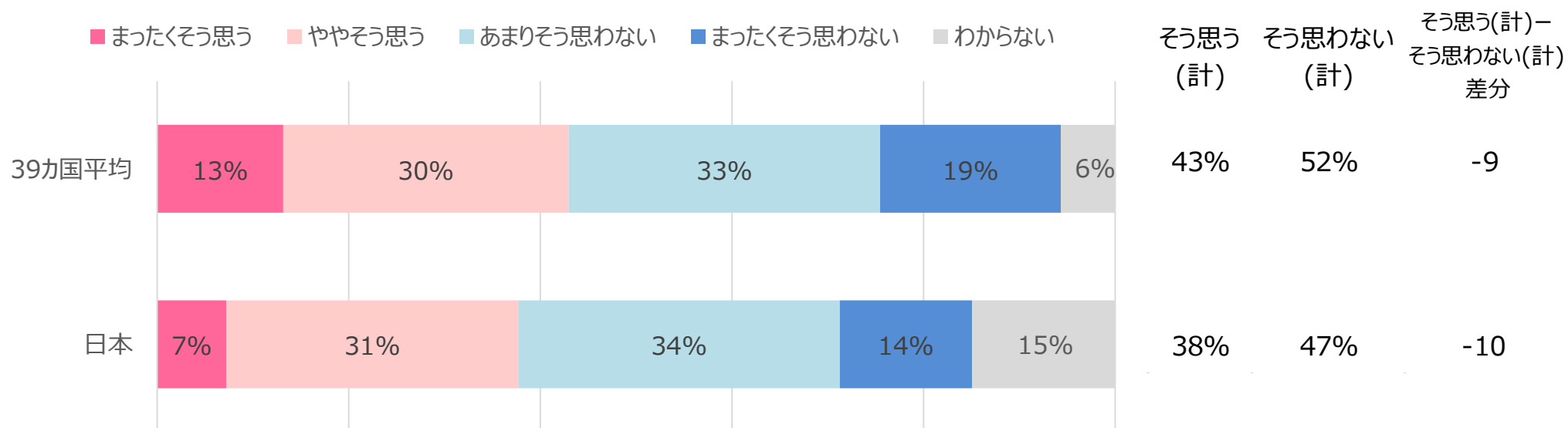
## ■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－地球温暖化は、人類にとって深刻な脅威だ（単数回答）



“気候変動を抑えるにはもう手遅れだ”という意見については、『そう思わない（計）』が39カ国・地域平均も日本も5割前後で、『そう思う（計）』（いずれも4割前後）を上回る。

- 気候変動を抑えるにはもう手遅れだ、という意見についてどう思うか聞いたところ、39カ国・地域平均では『そう思わない（計）』の回答の割合が52%で、『そう思う（計）』の回答の割合（43%）を上回る。
- 日本でも、『そう思わない（計）』の回答の割合（47%）が、『そう思う（計）』の回答の割合（38%）を上回る。

■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－気候変動を抑えるにはもう手遅れだ（単数回答）

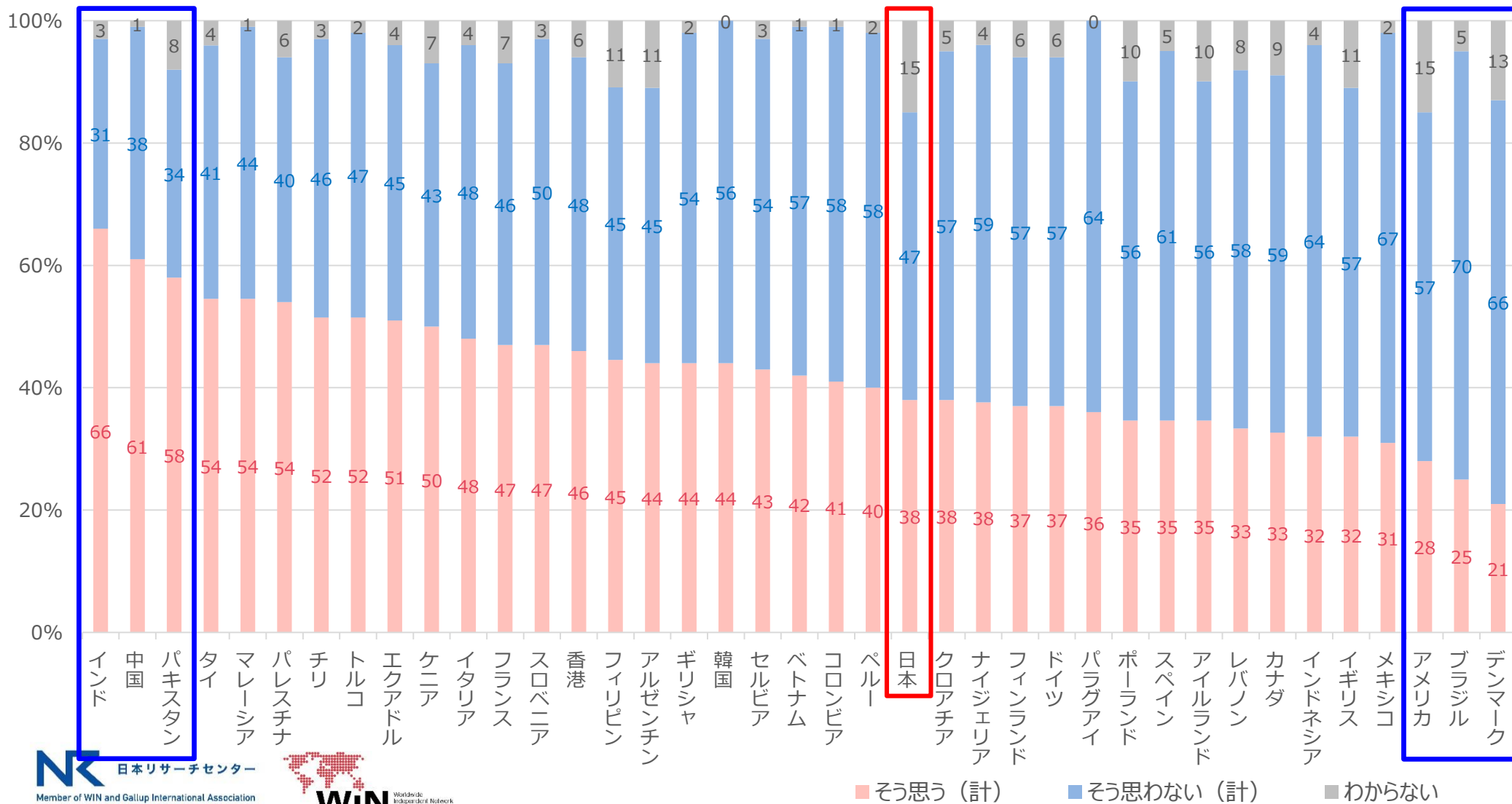




## 【2. 気候変動を抑えるにはもう手遅れだ】

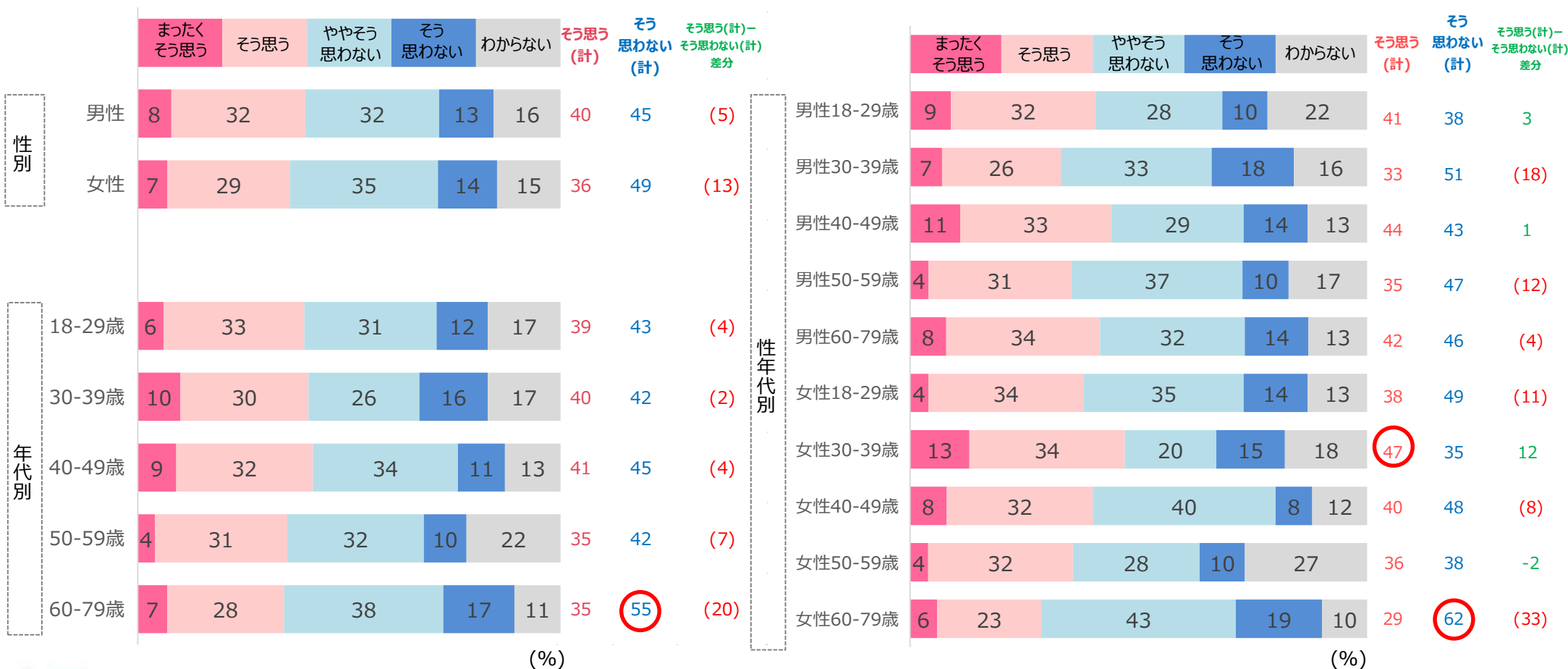
- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はインド、中国、パキスタン。一方、下位3カ国は、デンマーク、ブラジル、アメリカでいずれも3割未滿。
- 日本はクロアチア、ナイジェリアと同率の38%で、39カ国・地域中23位。

■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:43%



- 日本の結果を年代別にみると、『そう思わない（計）』の回答の割合が60-79歳で55%と、他の年代と比べて多い。
- 性年代別にみると、女性30-39歳で、『そう思う（計）』の回答の割合が47%と5割近くを占め、他の性年代と比べて多い。一方、女性60-79歳では『そう思わない（計）』の回答の割合が6割を超え、他の性年代と比べて多い。

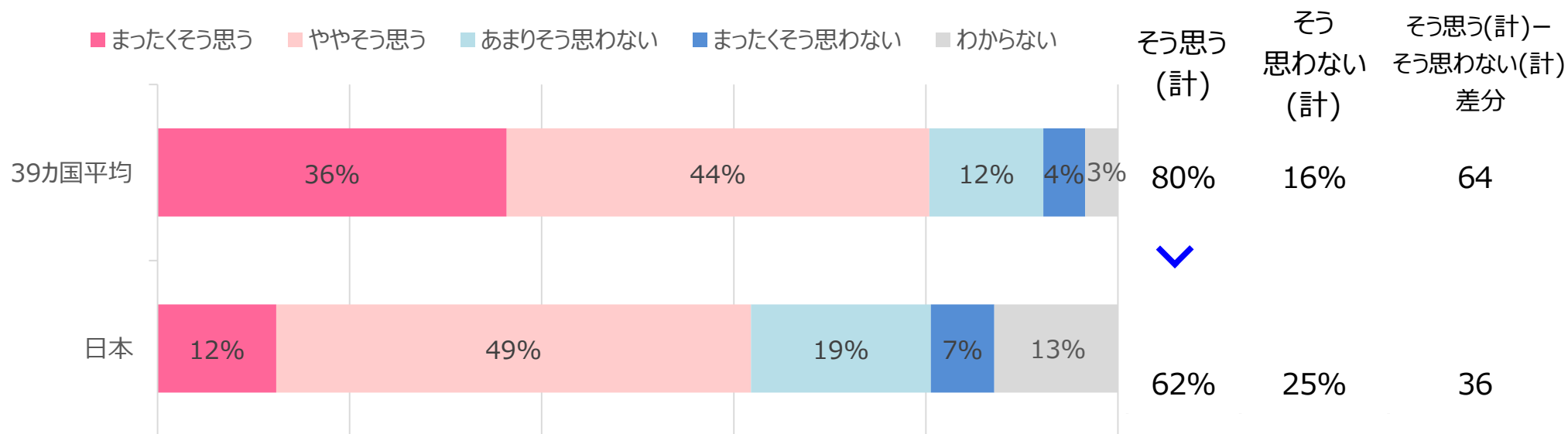
■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－気候変動を抑えるにはもう手遅れだ（単数回答）



“自分の行動・取り組みが環境の改善につながると思う”という意見については、39カ国・地域平均で『そう思う（計）』が8割と多い。日本では『そう思う（計）』は約6割で、39カ国・地域平均と比べて18ポイント少ない。

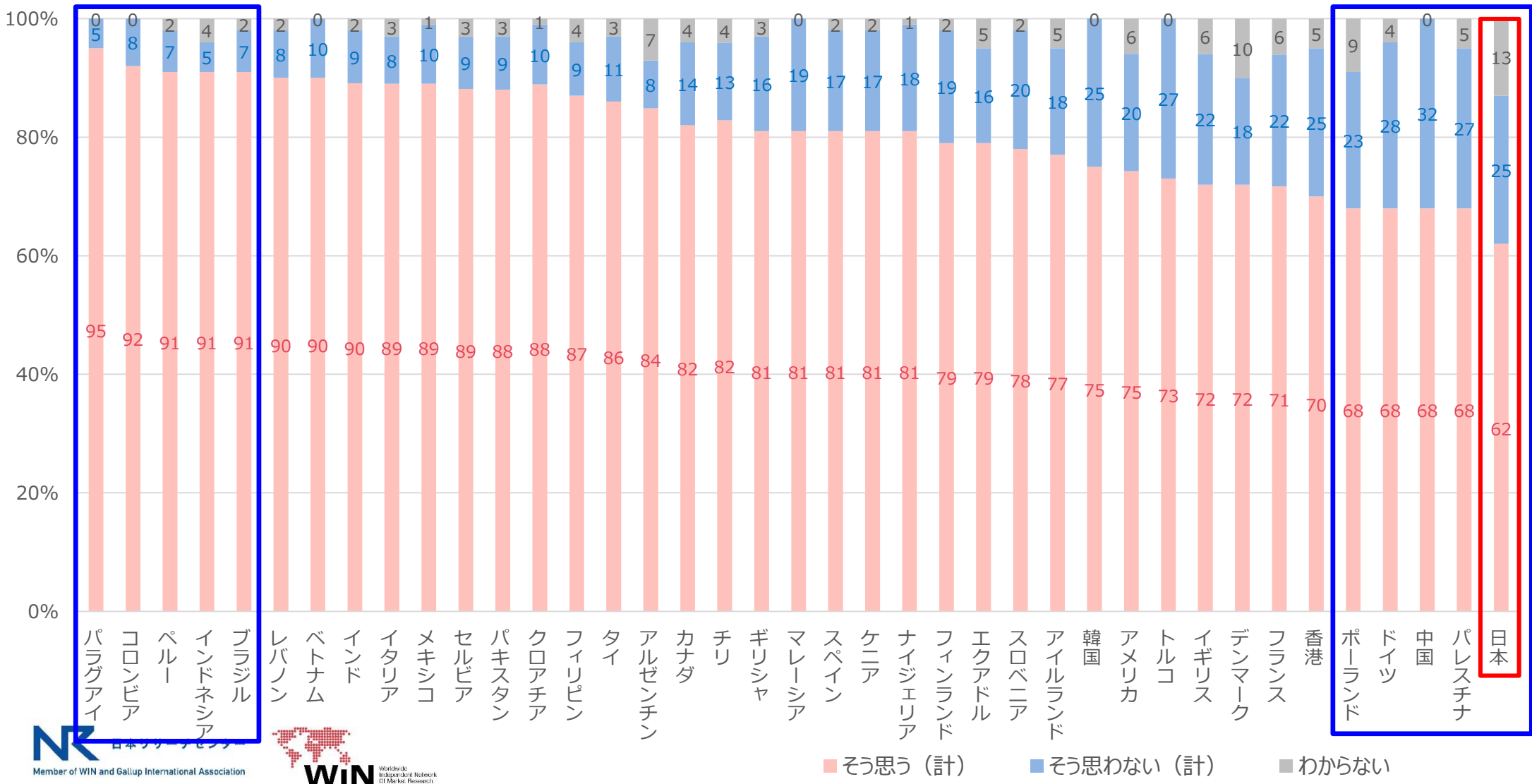
- 自分の行動・取り組みが環境の改善につながると思う、という意見についてどう思うか聞いたところ、39カ国・地域平均では『そう思う（計）』の割合が80%で、多数を占める。『そう思わない（計）』の回答の割合は16%。
- 日本では『そう思う（計）』が62%で、39カ国・地域平均と比べて18ポイント少ない。『そう思わない（計）』の回答の割合は25%で、39カ国・地域平均と比べて9ポイント多い。

■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－自分の行動・取り組みが環境の改善につながると思う（単数回答）



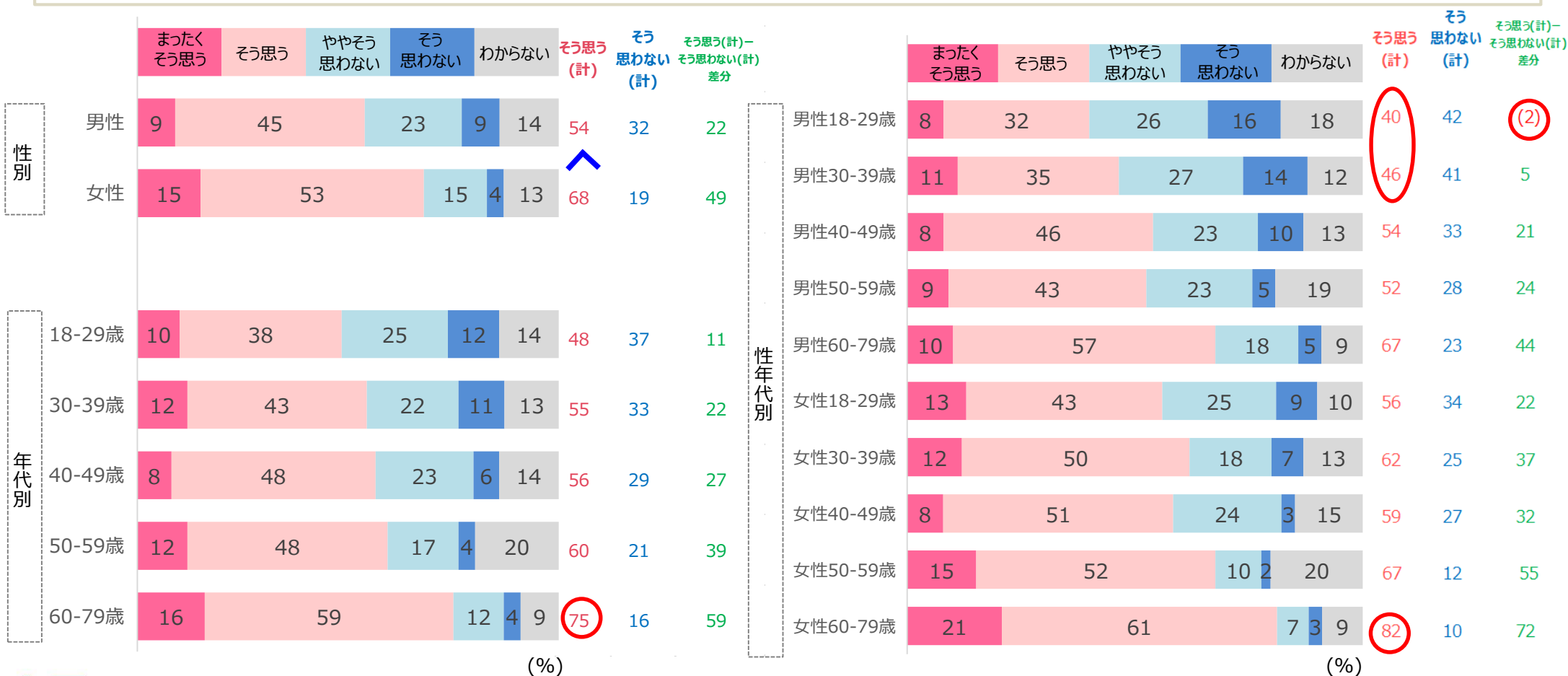
- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位5カ国はパラグアイ、コロンビア、ペルー、インドネシア、ブラジル。一方、下位5カ国は、日本、パレスチナ、中国、ドイツ、ポーランドで、いずれも7割以下。
- 日本は62%で39カ国・地域中最下位。

■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:80%



- 日本の結果を性別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は女性では7割近くを占め、男性よりも14ポイント多い。
- 年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は年代があがるにつれて増え、18-29歳は5割未満、60-79歳は7割台半ば。
- 性年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は男性18-39歳では5割を下回る。また、男性18-29歳では、『そう思う（計）』の回答の割合が『そう思わない（計）』の回答の割合を下回る。一方、女性60-79歳では、『そう思う（計）』の回答の割合が8割を超え、他の性年代よりも多い。

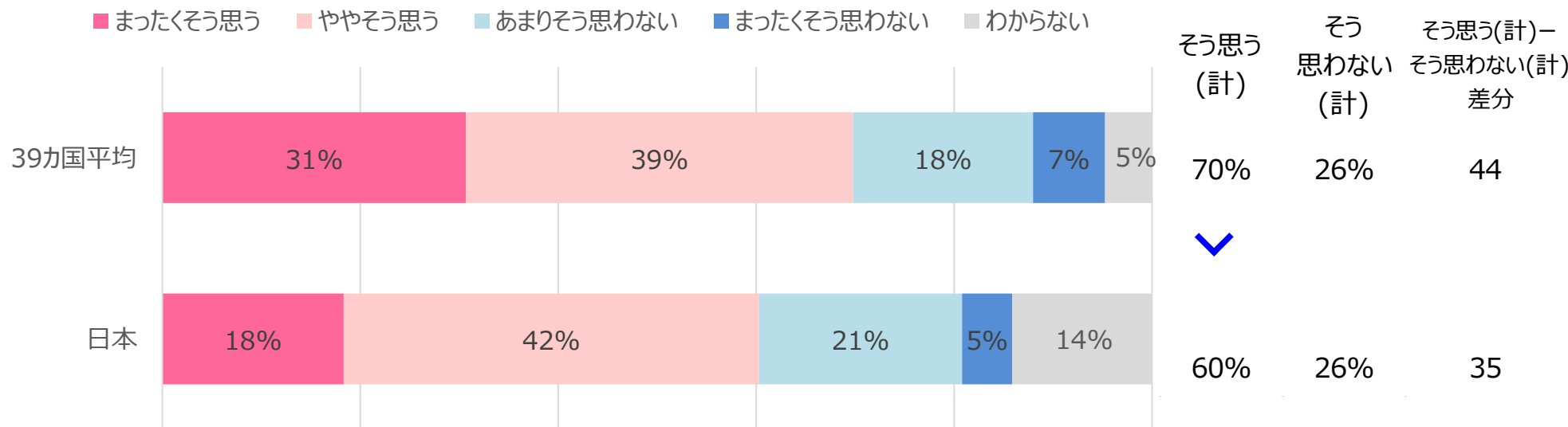
## ■次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－自分の行動・取り組みが環境の改善につながると思う（単数回答）



“持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ”という意見については、39カ国・地域平均では『そう思う（計）』が7割。日本は6割で、39カ国・地域平均と比べて10ポイント少ない。

- 持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ、という意見についてどう思うか聞いたところ、『そう思う（計）』の回答の割合は、39カ国・地域平均は70%。『そう思わない（計）』の回答の割合は、26%。
- 日本では、『そう思う（計）』が60%で、39カ国・地域平均と比べて10ポイント少ない。『そう思わない（計）』の回答の割合は26%で、39カ国・地域平均と同率。

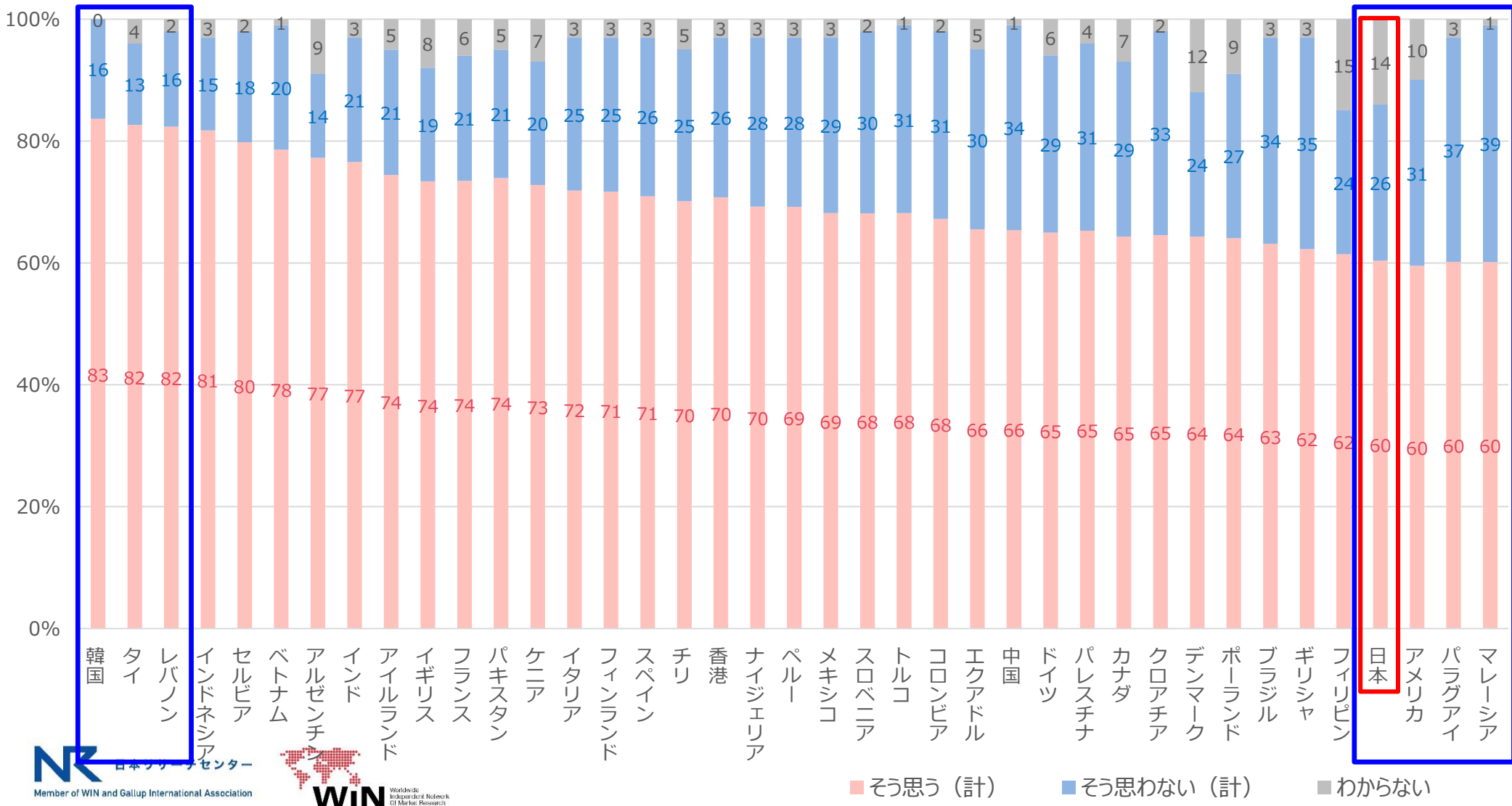
■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－ 持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ (単数回答)





- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国は韓国、タイ、レバノン。一方、下位4カ国は、マレーシア、パラグアイ、アメリカ、日本。
- 日本は、アメリカ、パラグアイ、マレーシアと同率の60%で、39カ国・地域中最下位。

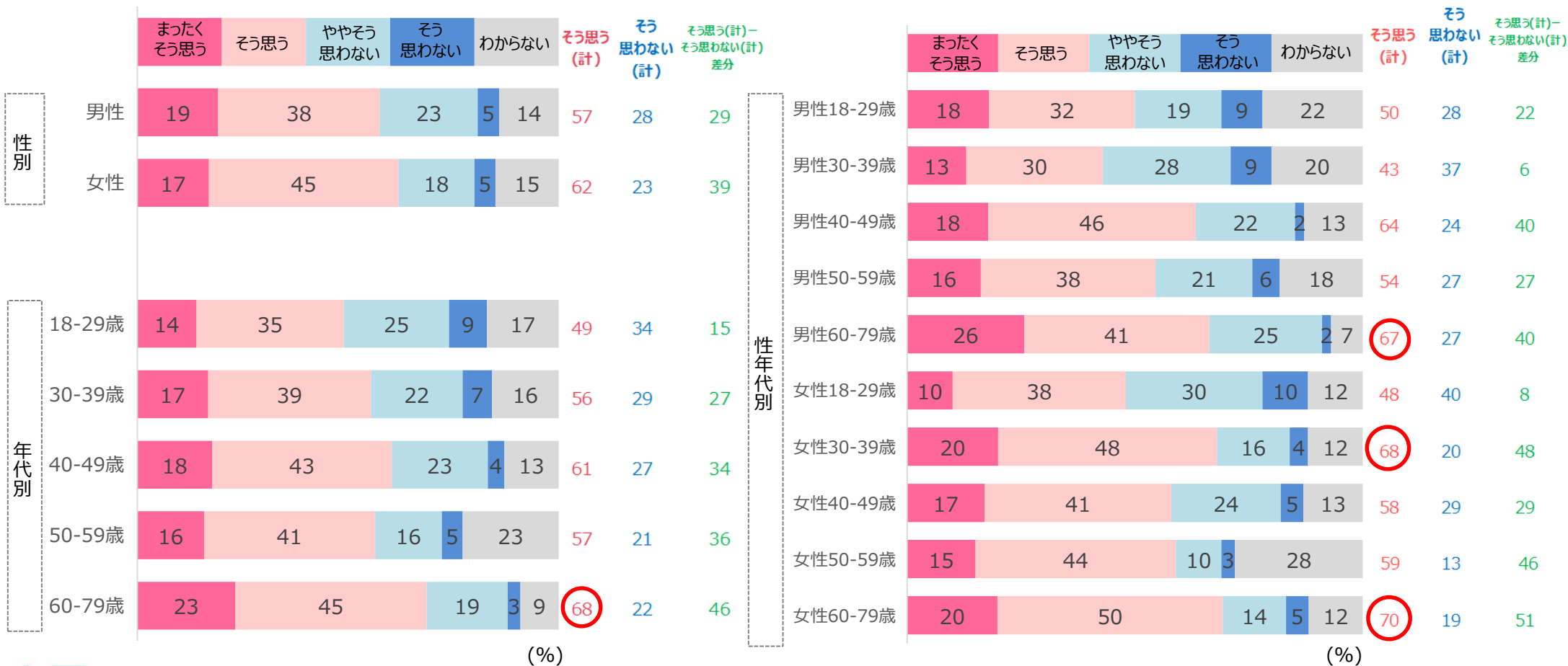
■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:70%



# 【4. 持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ】 16

- 日本の結果を年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は、60-79歳は68%で7割近くを占め、他の年代よりも多い。
- 性年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は男性60-79歳、女性30-39歳、女性60-79歳で7割前後と他の性年代と比べて多い。

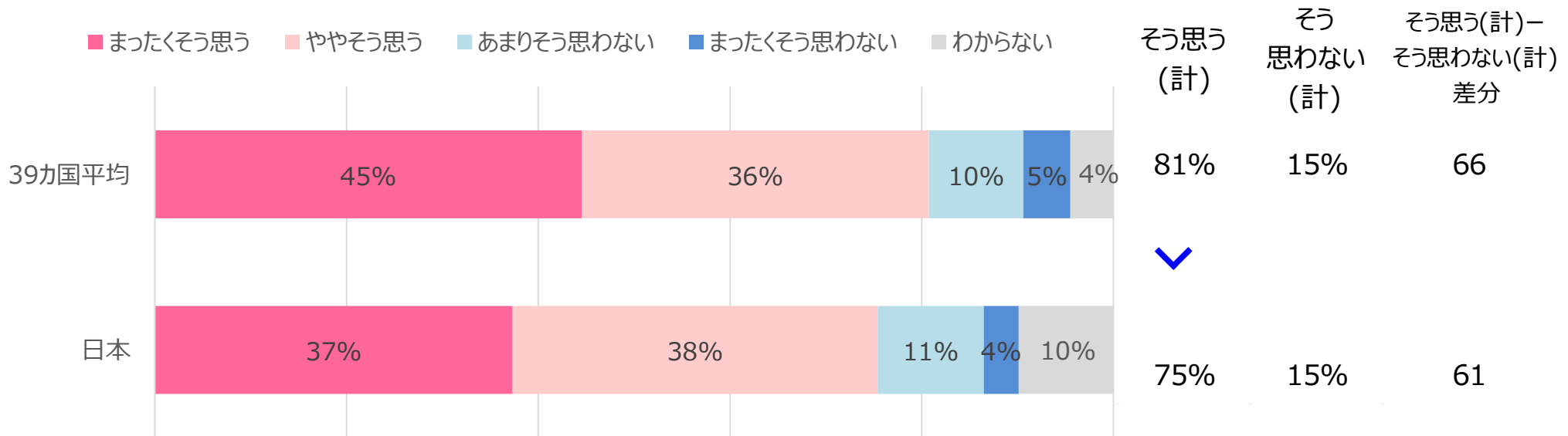
■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－ 持続可能性や環境について、本当に努力すべきなのは、個人というよりもむしろ企業や政府だ (単数回答)



“地球温暖化が原因で、自然災害(豪雨、洪水、台風など)が増加している”という意見については、39カ国・地域平均も日本も『**『そう思う(計)』**』が多数派。

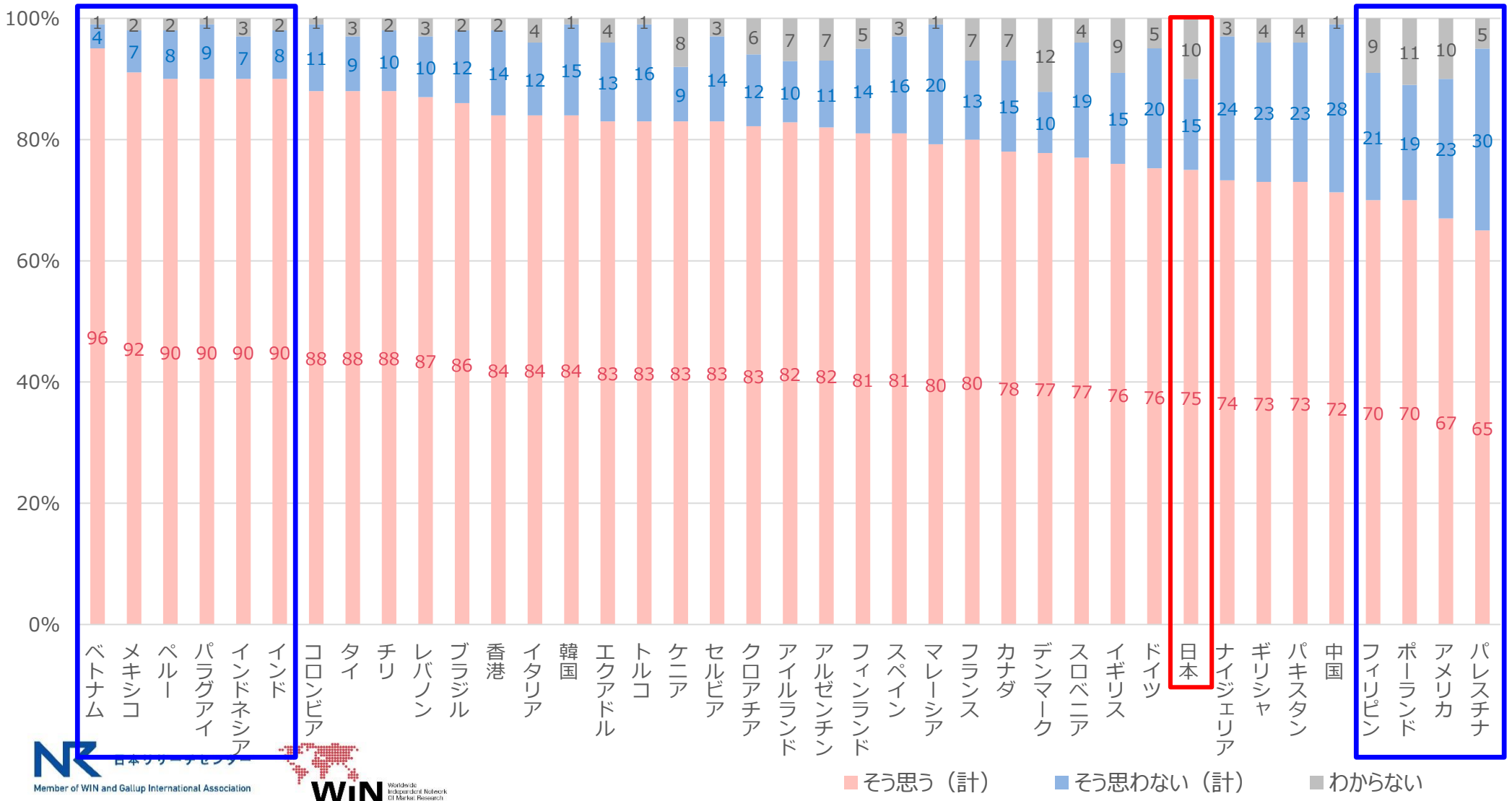
- 地球温暖化が原因で、自然災害(豪雨、洪水、台風など)が増加している、という意見についてどう思うか聞いたところ、39カ国・地域平均は『**『そう思う(計)』**』の回答の割合は81%と多くを占める。
- 日本でも、『**『そう思う(計)』**』の回答の割合は75%と多い。『**『そう思わない(計)』**』は39カ国・地域平均と同率の15%。

■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－地球温暖化が原因で、自然災害(豪雨、洪水、台風など)が増加している(単数回答)



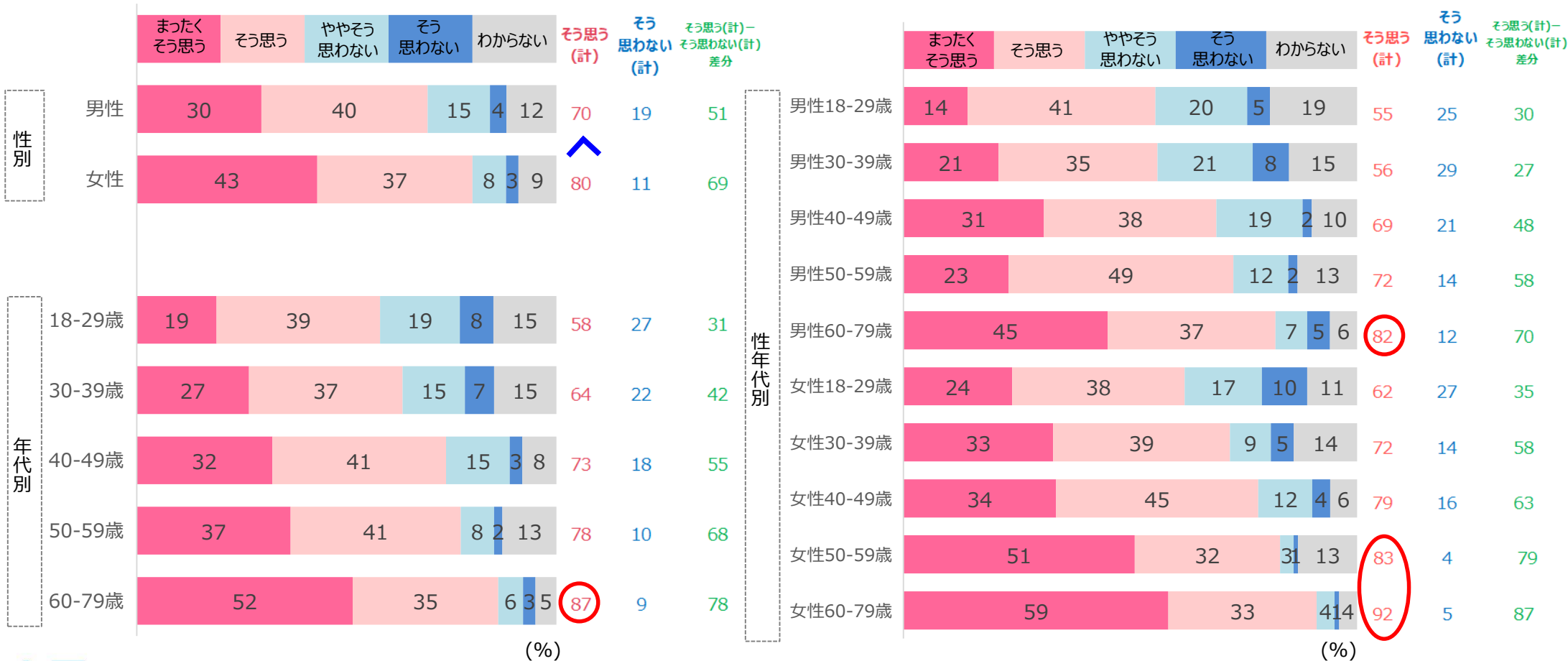
- 『そう思う(計)』の割合の大きい順に並べてみると、上位6カ国はベトナム、メキシコ、ペルー、パラグアイ、インドネシア、インドで、いずれも9割以上。一方、下位4カ国は、パレスチナ、アメリカ、ポーランド、フィリピン。
- 日本は75%で、39カ国・地域中31位。

■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:81%



- 日本の結果を性別にみると、『そう思う(計)』の回答の割合は女性が80%で、男性よりも10ポイント多い。
- 年代別にみると、『そう思う(計)』の回答の割合は年代があがるにつれ増え、18-29歳では最も少なく58%。60-79歳では最も多く87%で9割近くを占める。
- 性年代別にみると、『そう思う(計)』の回答の割合は男性60-79歳と女性50-59歳で8割を超える。女性60-79歳では9割以上を占め、他の性年代と比べて多い。

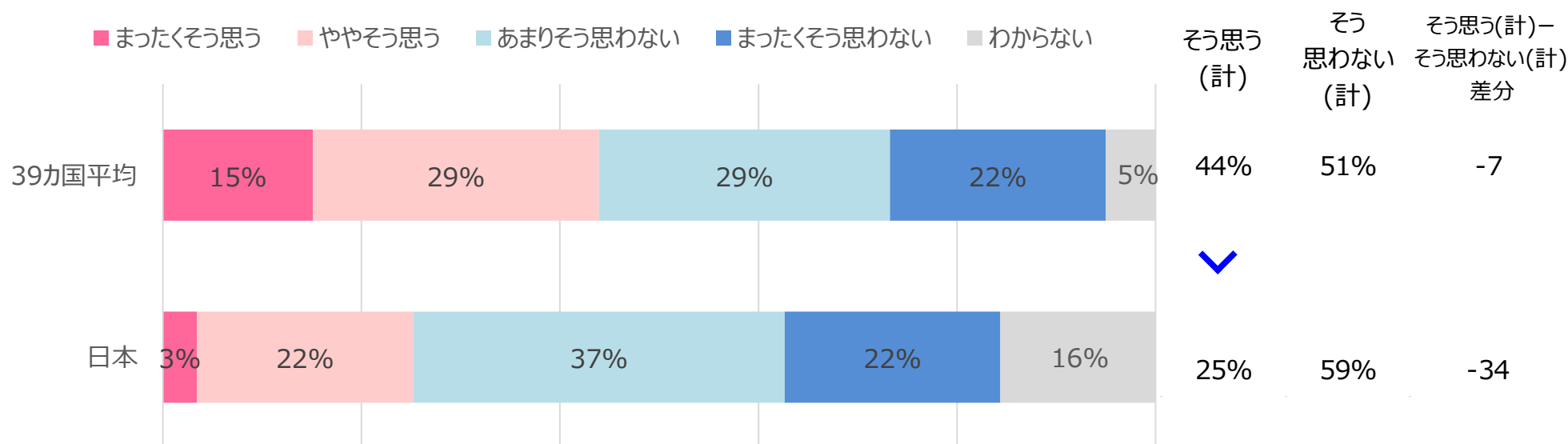
■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－地球温暖化が原因で、自然災害(豪雨、洪水、台風など)が増加している(単数回答)



“各国政府は環境を保護するために必要な行動を取っている”という意見については、39カ国・地域平均も日本も、『**そう思わない（計）**』が『**そう思う（計）**』を上回る。『**そう思わない（計）**』の回答の割合は、39カ国・地域平均は約5割、日本は約6割。

- 各国政府は環境を保護するために必要な行動を取っている、という意見についてどう思うか聞いたところ、39カ国・地域平均は『**そう思わない（計）**』が51%で、『**そう思う（計）**』の回答の割合（44%）を上回る。
- 日本では、『**そう思わない（計）**』の回答の割合が59%と6割近く、『**そう思う（計）**』の回答の割合（25%）を34ポイント上回る。

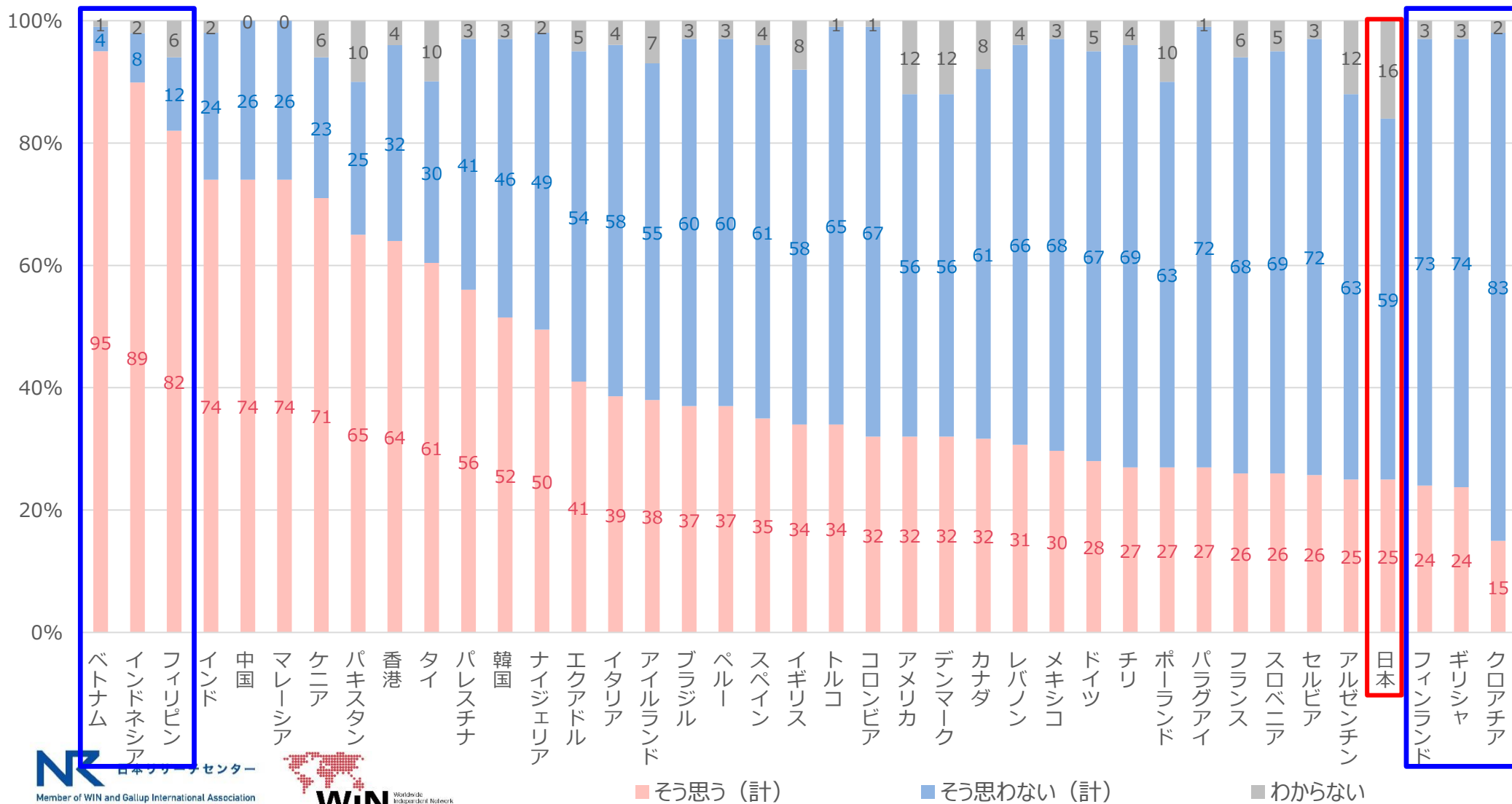
■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－各国政府は環境を保護するために必要な行動を取っている（単数回答）





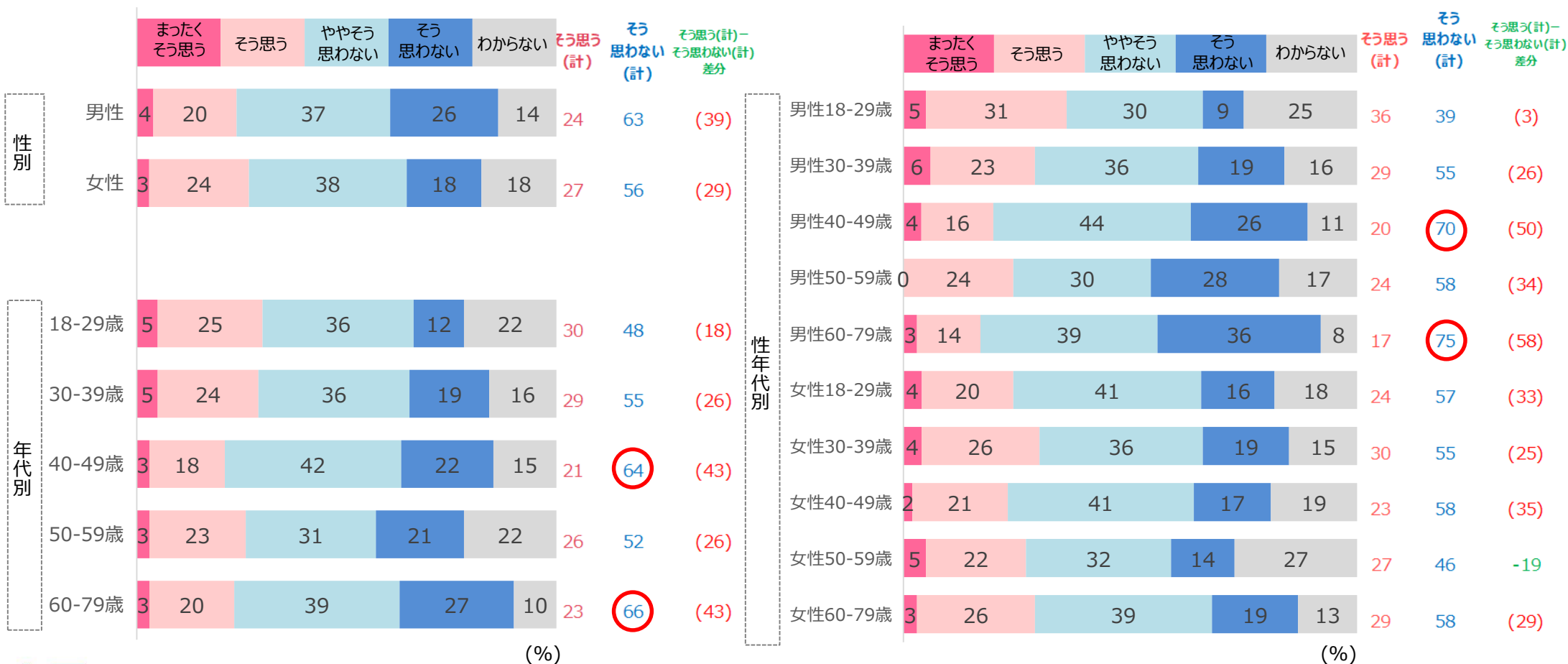
- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はベトナム、インドネシア、フィリピンで、いずれも8割を超える。一方、下位3カ国は、クロアチア、ギリシャ、フィンランド。
- 日本はアルゼンチンと同率の25%で、39カ国・地域中35位。

■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:44%



- 日本の結果を年代別にみると、『そう思わない（計）』の回答の割合は40-49歳と60-79歳で6割を超え、他の年代と比べて多い。
- 性年代別にみると、『そう思わない（計）』の回答の割合は男性40-49歳と男性60-79歳で7割を超え、他の性年代と比べて多い。

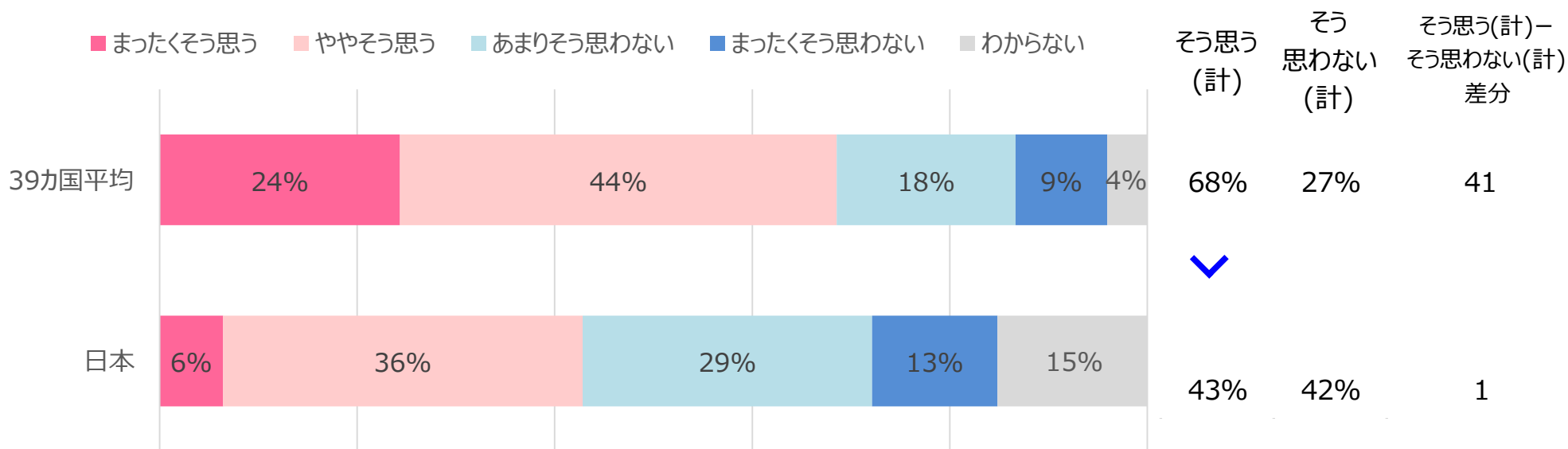
## ■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－各国政府は環境を保護するために必要な行動を取っている（単数回答）



“環境を保護する製品には、もっと多くの金額を支払ってもいいと思う”という意見については、39カ国・地域平均で『そう思う（計）』が約7割。日本は『そう思う（計）』と『そう思わない（計）』がいずれも約4割で意見が分かれる。また、『そう思う（計）』は、39カ国・地域平均と比べて25ポイント少ない。

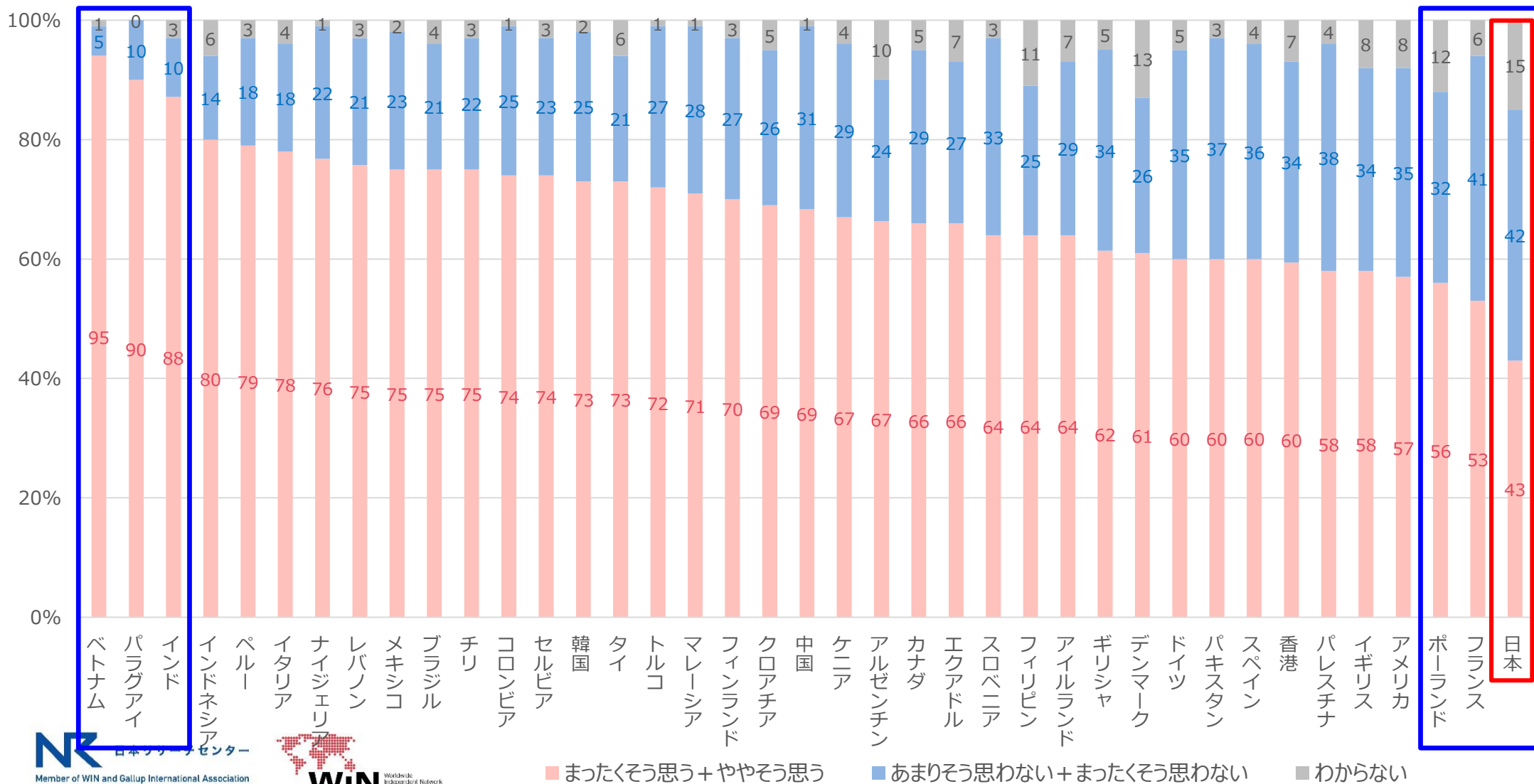
- 環境を保護する製品には、もっと多くの金額を支払ってもいいと思う、という意見についてどう思うか聞いたところ、39カ国・地域平均は『そう思う（計）』の回答の割合が68%。『そう思わない（計）』は27%。
- 日本では、『そう思う（計）』の回答の割合が43%、『そう思わない（計）』の回答の割合が42%で、意見が分かれる。『そう思う（計）』は、39カ国・地域平均と比べて25ポイント少ない。

■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－環境を保護する製品には、もっと多くの金額を支払ってもいいと思う（単数回答）



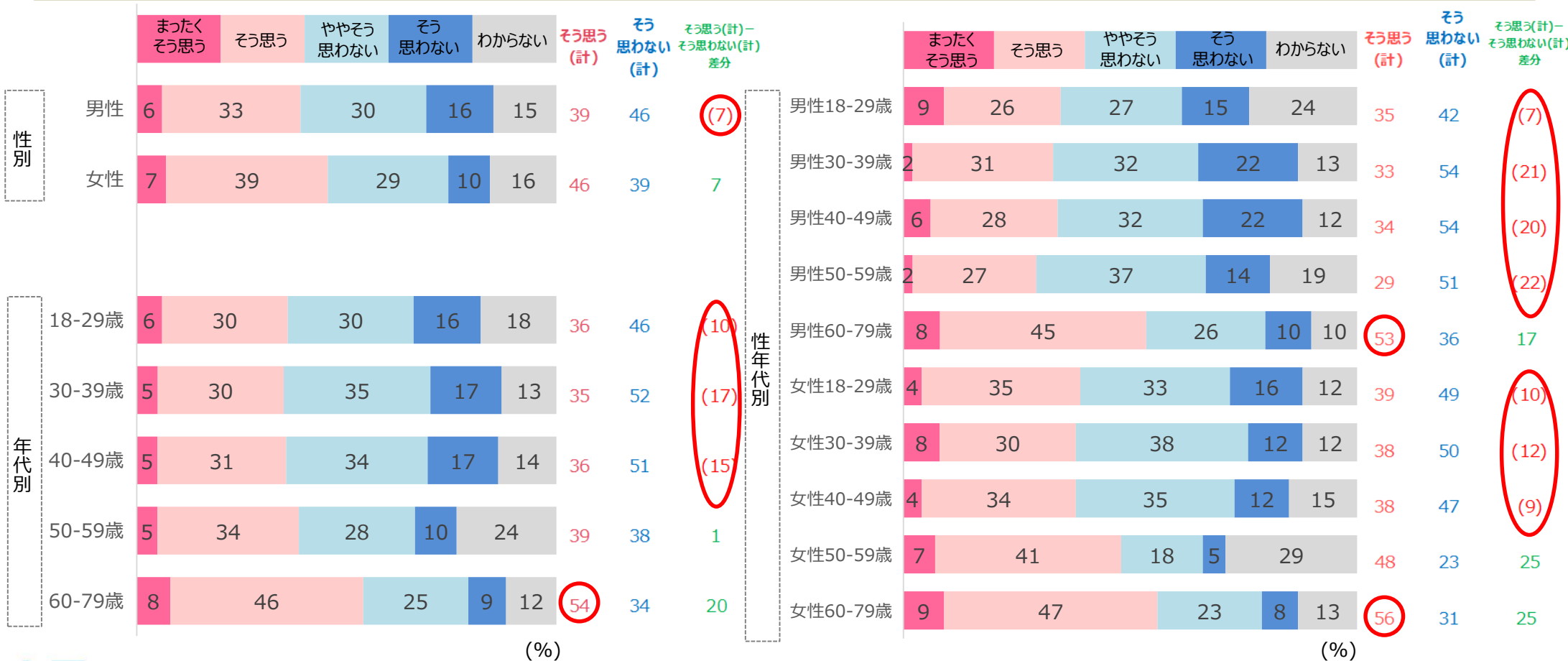
- 『そう思う（計）』の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はベトナム、パラグアイ、インド。一方、下位3カ国は、日本、フランス、ポーランド。
- 日本は43%で、39カ国・地域中最下位。

■ 各国の「まったくそう思う」+「ややそう思う」の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※39カ国・地域平均:68%



- 日本の結果を性別にみると、男性は『そう思う（計）』の回答の割合が、『そう思わない（計）』の回答の割合を下回る。
- 年代別にみると、18-49歳では、『そう思う（計）』の回答の割合が、『そう思わない（計）』の回答の割合を下回る。『そう思わない（計）』の回答の割合は30-49歳で5割を超え、他の年代と比べて多い。
- 性年代別にみると、『そう思う（計）』の回答の割合は男性60-79歳と女性60-79歳で5割を超え、他の性年代と比べて多い。一方で、男性18-59歳と女性18-49歳では、『そう思う（計）』の回答の割合が、『そう思わない（計）』の回答の割合を下回る。

■ 次にあげる意見それぞれについて、あなたの考えをお知らせください。－環境を保護する製品には、もっと多くの金額を支払ってもいいと思う（単数回答）



● 39カ国・地域の内訳と各国の調査手法およびサンプルサイズ

調査手法：面接調査、電話調査、インターネット調査  
 調査対象：18歳以上の個人  
 実施期間：2021年10月～12月

地域	国	サンプルサイズ
アジア	日本	1,182
	インド	1,000
	インドネシア	689
	タイ	600
	パキスタン	1,000
	フィリピン	1,000
	ベトナム	601
	マレーシア	1,007
	韓国	1,500
	香港	524
	中国	1,000
北米	アメリカ合衆国	1,000
	カナダ	1,001
中南米	アルゼンチン	821
	エクアドル	730
	コロンビア	775
	チリ	1,216
	パラグアイ	500
	ブラジル	1,153
	ペルー	1,000
	メキシコ	501

地域	国	サンプルサイズ
中東	トルコ	1,003
	パレスチナ自治領	731
	レバノン	500
アフリカ	ケニア	1,000
	ナイジェリア	1,000
欧州	アイルランド	1,020
	イギリス	1,051
	イタリア	1,000
	ギリシャ	505
	クロアチア	516
	スペイン	1,000
	スロベニア	515
	セルビア	529
	デンマーク	510
	ドイツ	1,000
	フィンランド	1,042
	フランス	1,001
	ポーランド	504

39カ国合計サンプル数(ノンウエイト) 33,227

● 日本の調査仕様および属性別調査サンプルサイズ

調査方法：インターネット調査  
 調査対象：全国の18～79歳男女個人 1,182人  
 実施期間：2021年11月8日～16日

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	583
	女性	599
年代別	18-29歳	185
	30-39歳	197
	40-49歳	222
	50-59歳	197
	60-79歳	381
性年代別	男性18-29歳	93
	男性30-39歳	97
	男性40-49歳	112
	男性50-59歳	99
	男性60-79歳	182
	女性18-29歳	92
	女性30-39歳	100
	女性40-49歳	110
	女性50-59歳	98
	女性60-79歳	199



## 《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

WIN・ワールドワイド・サーベイ2021担当

メール：[information@nrc.co.jp](mailto:information@nrc.co.jp)

本リリースの引用・掲載の際は、必ず「日本リサーチセンター／WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）調べ」とクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。